

富山市総合計画審議会【第1回協働・連携部会】

第2次富山市総合計画後期基本計画（案）についての主な意見と対応（案）

○：意見を反映するもの。
●：前期からの変更において既に対応しているもの。

項目	意見	対応（案）	現行案	修正案	担当部局	計画反映
IV-1-(1)	「ボランティアは無償」という考えはあるが、有償ボランティアや何らかのインセンティブのあるボランティアを促進してはどうか。それに併せて、寄付文化の醸成もできれば社会貢献の意味合いも出てくる。	ボランティアは、一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指しており、有償、無償については、それぞれ個人や団体の活動内容によるものが大きいと考えております。また、ボランティアの活動が広く周知されれば、その活動を応援したいと思う市民が増えてくると考えられることから、IV-1-(1) 施策の方向①「協働を推進する環境整備」（P166）に、ボランティア活動の推進について述べております。今後ともボランティアのきっかけづくりや意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。	施策の方向①「協働を推進する環境整備」（P166）・協働意識の向上 地域のさまざまな課題解決に向け、市民や企業、団体等がそれぞれ地域の一員であることを自覚し、それぞれの能力や経験、ノウハウなどを生かして積極的に地域活動に取り組むなど、まちづくりへの参画意識の向上に努めます。		市民生活部	●
IV-1-(1)	NPO・NGOなど様々な方々いろいろな形で協働していく、あるいは連携して意見を聞きながらプランニングをしていくといった姿勢が今後大事になると考える。	自治振興会をはじめとする各種団体やNPO、企業、行政がそれぞれの立場で社会全体の課題の解決に取り組む市民協働の必要性が増してきているものと考えております。多様化する様々な課題に対応し、よりよい地域社会を形成していくために各種団体やNPO等と連携しながら市民協働による安全で安心なまちづくりの推進に努めてま	施策の方向④「市民との意見交換の機会の充実」（P167） 出前講座やタウンミーティング等を通じて、市民に市の施策などを説明し、理解を深めてもらうとともに、市民の多様な意見を伺う機会の充実に努めます。 また、地域住民に身近な窓口である地区センター等の機能や箇所数をできる		市民生活部	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		<p>いりたいと考えております。</p> <p>このことから、計画案では、IV-1-(1) 施策の方向④「市民との意見交換の機会の充実」(P167) について述べているところであり、今後とも市民への情報提供と意見交換に努めてまいりたいと考えております。</p>	<p>だけ維持するとともに、自治振興会組織の支援等を図り、地域における意見などを十分にくみ取り、市政に反映できるように地域との緊密な関係の構築に努めます。</p>			
IV-1-(1)	<p>ボランティアに関して、志を同じにする人同士が会話できるプラットフォームを作ることが行政の役割ではないか。</p>	<p>富山市社会福祉協議会にある富山市ボランティアセンターでは、ボランティア団体や希望者を対象とした研修会を開催し、ボランティア団体の活動発表や参加者同士による意見交換を行うなど交流を図るとともに、各ボランティア団体や関係機関等との連絡調整も行っているところであり、市では当該団体の活動を支援しているところであります。</p>			市民生活部	
IV-1-(1)	<p>転居や移住により新しく住む町の情報入手が難しい。特に集合住宅は隣人との関係が希薄なためか強く感じる。市役所での届出時に「〇〇町らしいの葉」等、地域の一員として自覚できる小冊子があると良い。</p>	<p>本市では、転入者に対して本市の行政情報を一覧で提供することを目的として「富山市くらしの便利帳」を毎年度、作成しており、主に市民課などでの転入届出の際に配布するとともに、市ホームページでも公開しております。</p>			市民生活部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
IV-1-(1)	(除雪への協力など、)市民がまちをよくしようと思う機運を高めることが大事ではないか。	IV-1-(1)「市民に期待する役割」(P167)において、「地域の一員として、魅力あるまちづくりへの積極的な参画」や「身近な地域活動やボランティア活動、イベントなどへの積極的な参加」を掲げているように、総合計画全体として、市民との協働によるまちづくりを目指しています。 今後とも、除雪活動をはじめ、防災や防犯や環境美化、地域コミュニティの推進など、幅広い分野において、協働のまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。	■市民に期待する役割 *地域の一員として、魅力あるまちづくりへの積極的な参画。 *身近な地域活動やボランティア活動、イベントなどへの積極的な参加。		市民生活部	
IV-1-(2) I-3-(1) I-3-(2)	介護は誰にでも降りかかる大きな問題であり、特に女性がその担い手になる場合が多く、働き方を変えざるを得ないケースもあるかもしれない。 延長保育・介護施設を料金や時間を含め柔軟な対応で利用できないか。また、気軽に相談しながら進めていける体制があると良い。	子育てや介護による、その担い手や働き方の制限については、計画(案)IV-1-(2)施策の方向②「女性活躍の推進」(P170)に、男女が共に育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境づくりを促進し、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)のとれた働き方の啓発に努め、特に男性が積極的に家事等に参画するための意識啓発や生活スタイルの向上のための学習機会の提供などを通じて、あらゆる世代の女性が個性と能力を十分に発揮し、いきいきと働ける社会の実現を目指すことに	IV-1-(2)一人ひとりが尊重される地域社会づくり ②女性活躍の推進 男女が共に育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境づくりを促進するとともに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のとれた働き方の啓発に努めます。特に、男性が積極的に家事等に参画するための意識啓発や、生活スタイルの向上のための学習機会の提供などを通じて、あらゆる世代の女性が、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと働ける社会の実		市民生活部 福祉保健部 こども家庭部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画 反映
		<p>ついて述べているところです。</p> <p>次に、介護保険制度は、給付と負担が明確な社会保険制度であり、国が一律に基準と報酬を定めて全国共通で実施されているものです。</p> <p>そのため、料金や時間での柔軟な対応は難しい面がありますが、I-3-(2)施策の方向②「介護サービス基盤の整備」(P70)で述べているとおり、介護が必要な高齢者が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう、地域バランス等に考慮しながら、介護サービスの基盤整備を推進してまいります。</p> <p>また、保育施設への入所要件には、就労以外にも介護や求職活動などもあります。延長保育についても、施設を運営する時間帯において、保護者の希望に応じた利用が可能であります。(利用実績に応じて利用料金がかかります。)</p> <p>なお、こども保育課及び各行政サービスセンターに子育て支援専門員を配置しており、育児相談や保護者のニーズに応じた保育施設や保育サービスの情報を提供しています。</p>	<p>現を目指します。</p> <p>I-3-(2)高齢者・障害者への支援</p> <p>②介護サービス基盤の整備</p> <p>高齢者が要介護の状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅での生活を送れるよう、また、在宅での生活が困難な方が、地域での生活を継続できるよう支援します。</p> <p>加えて、在宅医療や看護を必要とする重度の要介護者や単身高齢者世帯・高齢者夫婦のみの世帯のニーズにも応えられるよう、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能型居宅介護をはじめとする、24時間対応のケアを推進し、地域密着型サービスの充実を図ります。</p>			

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
IV-1-(3) IV-1-(4) IV-2-(1) IV-2-(1)	地域との関係が希薄で、愛着を持つことが難しいと感じる。また子育てを終えた世代は少しずつ地域との関係が希薄になりがちである。昔ながらの祭りや町巡り等地域の学び・体験の場など、公民館活動や地区センター等を通じた住民同士の交流の機会があると良い。	IV-1-(4)施策の方向①「地域活動の推進」(P173)において、ふるさとづくり事業について述べておりますが、本市は、地区センター等の出先機関を市内全域に計79箇所設けるとともに、地域住民の活動の拠点となる市立公民館を市内82箇所に整備し、地域住民と行政が共に地域の振興に取り組むことができる体制を構築しています。 また、市立公民館では、ふるさと講座を開設し、地域住民の学習意欲の向上や生きがい作りの場を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めたり、世代間交流の場となる行事への支援も行っており、地域住民が交流を深め、地域の特徴ある文化や歴史などへの関心を高めることなどにより、地域の活性化はもとより、地域に対する愛着や誇りを高めることができるものと考えております。			市民生活部 教育委員会	
IV-1-(4) I-1-(4)	市民大学等の講座を通して、学ぶ機会や世代間交流を多くする。	I-1-(4)施策の方向①生涯学習活動の充実(P50)において、市民大学等の講座について述べておりますが、現在も、幅広い世代を対象に、歴史・文学・社会・国際理解・芸術等多種、多	IV-1-(4) コミュニティの強化 ■市民に期待する役割 *地域の絆や連帯意識の育成。 *地域を支える担い手としての自覚。 *コミュニティの強化に向けての主体的	IV-1-(4) コミュニティの強化 ■市民に期待する役割 *地域の絆や連帯意識の育成。 *地域を支える担い手としての自覚。 *コミュニティの強化に向けての主体的	教育委員会	○

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		<p>彩な分野の講座を展開しており、今後とも系統的な内容による継続的な学習機会を提供してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、IV-1-(4)の『市民に期待する役割』に、「公民館活動や生涯学習の機会を通じた世代間交流の積極的な実施」を追加します。</p>	<p>的な行動。</p>	<p>な行動。</p> <p><u>*公民館活動や生涯学習の機会を通じた世代間交流の積極的な実施。</u></p>		
IV-1-(4)	<p>隣人が分からないということに寂しさや危険を感じることがある。地域内のつながりをもっと強くできないか。</p>	<p>生活様式の多様化などにより、地域社会における連帯意識や地域への愛着心が希薄化しつつあることから、住民相互の連帯意識を高め、社会的絆の醸成を図ることが重要であることから、計画案では、IV-1-(4)施策の方向①「地域活動の推進」及び②「地域の活動拠点の整備」(P173)について述べております。</p>	<p>施策の方向①「地域活動の推進」(P173)</p> <p>(略)住民の地域づくりへの参画や、世代間交流の活発化を推進するとともに、住民相互の連帯意識を高め、ソーシャルキャピタル(社会的絆)の醸成が図られるよう、積極的に支援します。</p> <p>さらに、地域における防犯、防災、福祉、教育などの活動を担う各種団体の支援と連携強化に努め、地域活動の活性化を促進します</p> <p>②「地域の活動拠点の整備」(P173)</p> <p>それぞれの地域における学習やコミュニティ活動、交流活動の拠点となる市立公民館の整備を進めるとともに、より身近な地域活動の拠点となる自治公民館の整備に対する補助や貸付など</p>		市民生活部	●

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
<p>その他 IV-1-(4)</p>	<p>「現状と課題」で市の弱みを記載するだけでなく、強みを記載し、さらに発展させるという考え方が必要ではないか。</p>	<p>自治振興会等の組織や民生委員や保健推進員などが活発に活動している、老人クラブの組織率が高い、3世代同居率が高い、集落単位の共同作業が活発に行われている、地縁性が色濃く残っていることなど、特にコミュニティに関する本市の強みについて、可能なものについて記載したい(P173)。</p>	<p>の支援に努めます。</p> <p>IV-1-(4) コミュニティの強化</p> <p>■現状と課題</p> <p>本市では、これまで主に小学校区を単位としてコミュニティが形成されてきましたが、都市部では、都市化の進展や生活様式の多様化などにより、従来の地域社会における連帯意識や地域への愛着心が希薄化しつつあり、農山村部では過疎化・高齢化により、次の時代を担う人材が不足するなど、コミュニティの維持が一段と困難になりつつあります。</p> <p>コミュニティの強化には、市民が自らのまちを魅力ある地域にしようと行動することや、福祉をはじめとするさまざまな分野で積極的に活動を行うことが重要であることから、シビックプライドの醸成やコミュニティ意識の高揚を図り、市民のまちづくりに対する積極的な参画意識を育むことに努めるとともに、地域におけるさまざまな活動を支援していくことが必要となっています。</p>	<p>IV-1-(4) コミュニティの強化</p> <p>■現状と課題</p> <p><u>本市では、これまで主に小学校区を単位としてコミュニティが形成されてきましたが、都市部では、都市化の進展や生活様式の多様化などにより、従来の地域社会における連帯意識や地域への愛着心が希薄化しつつあり、農山村部では過疎化、高齢化により、次の時代を担う人材が不足するなど、コミュニティの維持が一段と困難になることが危惧されています。</u></p> <p><u>一方で、本市は、自治振興会等の組織や民生委員等や保健推進員などが活発に活動するとともに、老人クラブの組織率が高いなど、地縁性が色濃く残っており、今後はこうした強みを生かしながら、コミュニティの強化には、市民一人ひとりが自らのまちを魅力ある地域にしようと行動することや、福祉をはじめとするさまざまな分野で積極的に活動を行うことが重要であることから、シビックプライドの醸成やコミュニティ意識の高揚を図り、市民のまちづくりに対する積極的な参画意識を育むことに努めると</u></p>	<p>企画管理部</p>	<p>○</p>

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
				もに、地域におけるさまざまな活動を支援していくことが必要となっています。		
IV-2-(1) III-2-(2)	(くすり関連施設について、) 市民との協働、企業を巻き込んだ形での協働でどういったものができるか考えていただきたい。	くすり関連施設の管理運営にあたっては、基本計画(平成30年度策定)の中で、「市民の参画を促し、市民とともに創造する管理運営」や「未来創造事業を実現する管理運営」等という方針を掲げております。 総合計画事業に掲げる「くすり関連施設整備事業」の展開にあたっては、今後、具体的な整備計画を進めていく中で、市民や企業の皆様とどのような連携ができるかについて検討してまいります。			商工労働部	
IV-2-(1) III-2-(2)	富山の認知度を高めるため、売薬や薬膳のような特化したものについて、健康と関連付けるなど、よりPRをすべきではないか。	本市では、富山の認知度を高めるため、全国的に知名度が高い「富山のくすり」に関する「富山やくぜん」の普及や「くすりのまち富山」を伝える語り部の育成など、薬業振興にかかる事業を推進してきております。 このことから、III-2-(2)「観光資源の創出・発信と受入体制の整備」の施策の方向③「富山ブランドの確立・推進」(P149)において、「健康とも親和性の高い」を追記し、今後も、「富山のくすり」が持つイメージを生かし	III-2-(2) 観光資源の創出・発信と受入体制の整備 ③富山ブランドの確立・推進 地域ブランドである「富山のくすり」をはじめ富山の物産の特色・魅力を効果的に国内外に発信することに努めるとともに、「薬都とやま」のブランドイメージを強化し、市民の誇りを育み、賑わいと回遊性を生み出す拠点となる施設の整備について検討します。	III-2-(2) 観光資源の創出・発信と受入体制の整備 ③富山ブランドの確立・推進 地域ブランドである「富山のくすり」をはじめ富山の物産の特色・魅力を効果的に国内外に発信することに努めるとともに、 <u>健康とも親和性の高い</u> 「薬都とやま」のブランドイメージを強化、 <u>活用</u> し、市民の誇りを育み、賑わいと回遊性を生み出す拠点となる施設の整備について検討します。	商工労働部	○

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
		たPRを促進してまいりたいと考えております。				
その他 IV-2-(1) IV-1-(1)	富山市の各地域の魅力、トピックス等の情報発信を地上戦、空中戦(電波)で積極的に行い、若者から高齢者まで受け入れやすい地域をアピールしていただきたい。	本市の魅力等に関する情報発信については幅広い世代に受け入れられるよう効果的な発信方法が重要であることは認識しており、IV-2-(1)施策の方向②「選ばれるまちづくりの推進」の中で、「他都市にはない本市の魅力を実際立たせるため、 <u>戦略的かつ効果的に</u> 情報発信を行うことで、多くの方から選ばれるまちとなることを目指します。」と述べているところであります。例えば、本市のオリジナルキャラクター「市立探偵ペロリッチ」を用いたショートムービーやハローキティとコラボした情報発信をSNSなどで行うほか、ANAの持つブランド力やネットワークを活用した情報発信なども行っているところであり、引き続き、ターゲットにあった効果的な情報発信に努めたいと考えております。	IV-2-(1)地域・自治体としてのブランディングとシティプロモーション ②選ばれるまちづくりの推進 (略)他都市にはない本市の魅力を際立たせるため、戦略的かつ効果的に情報発信を行うことで、多くの方から選ばれるまちとなることを目指します。		企画管理部	●
IV-3-(1)	富山市は、しっかりまちづくりをして固定資産税の税収を上げていく、といった体力をつけて税収を上げようという戦略を取ってい	現在進めている「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」や今後の「スマートシティの推進」は本市の活力ある持続可能なまちづくりを進めるための柱となる政策で			活力都市創造部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
	るので、そこはしっかり堅持していただきたい。	あり、これを基本とした各種の取り組みを通して、税収の増などの成果が上がるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。				
IV-3-(1)	ホームページによるオープンデータ化を進めていただきたい。	本市が保有するデータの中で公開が可能なものについては、既に富山市オープンデータサイトに掲載しております。今後も公開可能なデータを洗い出すことにより、さらなるオープンデータの推進に取り組んでまいります。			企画管理部	
IV-3-(1) その他	行政の計画はPDCAサイクルを確立しながらも、柔軟な見直しにも努める。	人口減少や厳しさを増す財政状況を見据え、今後一層効率的、効果的な行財政運営が求められています。 総合計画においては、基本計画に基づき、実施計画で事業の年次計画を示すとともに、ローリング方式により基本計画を毎年見直し、さらに市民意識調査により施策の効果も把握しながら、実効性の確保や諸情勢の変化に対応していきます。			企画管理部	
IV-3-(2)	社会が複雑化しながら進展している現状に対応できるよう、職務能力の向上を図る。	本市では、職務能力の向上を図るため、基本研修(階層別)や特別研修、派遣研修などを実施しているところであり、今後は、次世代を担うデジタル人材など、新しい時代に求められる職員の育成に取り組んでまいります。			企画管理部	

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画反映
IV-3-(2)	<p>施策の方向に『③ 前例主義からの脱却』を追加してはどうか。</p> <p>理由 フォアキャストィングを改め、過去のデータから将来を類推するのをやめる</p> <p>バックキャストィングの観点に立ち 10~20 年先の富山を想定した施策を立案する統計は将来の KGI-KPI の達成度を評価するために収集するもので、過去の統計が将来の KGI-KPI の基準としてはいけない。</p>	<p>ご意見の趣旨については、IV-3-(2) (P182)に記載の『富山市人材育成基本方針』の「目指すべき職員像」として記載しています。</p>	<p>■現状と課題</p> <p>「富山市人材育成基本方針」に示す「めざすべき職員像」</p> <p>(略)</p> <p>④「挑戦」チャレンジ</p> <p>前例踏襲に陥ることなく創造性・柔軟性を発揮しながら、積極・果敢に新たな課題にチャレンジする職員</p>		企画管理部	●
IV-3-(3)	<p>国・県・市の役割分担を明確にしながら、情報交換し地域の活性化を図る。</p>	<p>IV-3-(3)「地方分権・広域連携行政への対応」の施策の方向②「県や近隣自治体との連携等の推進」(P184)に、県のワンチームとやま推進本部会議による取組に関する記載と『災害対策など、市単独では解決が困難な事案への対応』を追記します。</p>	<p>②県や近隣自治体との連携等の推進</p> <p>広域的な行政を担う県と住民に最も身近な基礎自治体である市における適切な役割分担のもと、県から市への権限移譲や県と市の二重行政の解消を進めるとともに、住民の利便性の向上や地域の活性化を図るため、県との連携強化に努めます。</p>	<p>②県や近隣自治体との連携等の推進</p> <p>広域的な行政を担う県と住民に最も身近な基礎自治体である市における適切な役割分担のもと、県から市への権限移譲や県と市の二重行政の解消を進めるとともに、<u>災害対策など、市単独では解決が困難な事案への対応や住民の利便性の向上、地域の活性化を図るため、令和3年1月に設置された「ワンチームとやま」連携推進本部会議において県及び市町村間の課題</u></p>	企画管理部	○

項目	意見	対応(案)	現行案	修正案	担当部局	計画 反映
				の共有を図るなど、幅広く県との連携強化に努めます。		